

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公表番号】特表2008-543444(P2008-543444A)

【公表日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-048

【出願番号】特願2008-517121(P2008-517121)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月12日(2009.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開創器(10)を患者の身体内に挿入した後に、前記開創器(10)に取り付けるための開創器拡張部材(20)であって、前記開創器拡張部材(20)は、外科手術中に組織クリップを制限し、前記開創器拡張部材(20)は、主本体(28)と、前記拡張部材(20)を、遠位端(13)を有する開創器(10)上の固定された、移動しない位置に取り外し可能に取り付けるための取り付け手段(30)とを含んでなり、前記取り付け手段(30)は、前記主本体(28)上に配置されるクリップ部材(33)を含んでなり、

それにより前記拡張部材(20)は、前記遠位端(13)が前記クリップ部材(33)によって受容され、かつ、前記主本体(28)の少なくとも一部が前記開創器の遠位端(13)を超えて延在するよう、前記開創器部材(10)上に取り付け可能であることを特徴とする、開創器拡張部材(20)。

【請求項 2】

前記取り付け手段(30)が、前記拡張部材(20)の前記主本体(28)上に配置される U 字型クリップ部材(33)を含んでなることを特徴とする、請求項 1 に記載の開創器拡張部材(20)。

【請求項 3】

前記取り付け手段(30)が、前記拡張部材(20)の前記主本体(28)上に配置される J 字型クリップ手段(33)を含んでなることを特徴とする、請求項 1 に記載の開創器拡張部材(20)。

【請求項 4】

前記取り付け手段(30)が、前記拡張部材(20)の前記主本体(28)上に配置されるスロット(36)と、前記スロット(36)内に配置される U 字型クリップ部材(35)とを含んでなることを特徴とする、請求項 1 に記載の開創器拡張部材(20)。

【請求項 5】

前記拡張部材(20)の前記主本体(28)が湾曲していることを特徴とする、請求項 1 に記載の開創器拡張部材(20)。

【請求項 6】

前記拡張部材(20)の前記主本体(28)が、概ね平坦であり、かつ、可撓性材料からなることを特徴とする、請求項 1 に記載の開創器拡張部材(20)。

**【請求項 7】**

前記拡張部材（20）をアプリケーションツール（90）に一時的に接続するためのツールコネクタ手段（21）をさらに含んでなることを特徴とする、請求項1に記載の開創器拡張部材（20）。

**【請求項 8】**

前記ツールコネクタ手段（21）が、前記拡張部材（20）中に設けられた開口（22）を含むことを特徴とする、請求項7に記載の開創器拡張部材（20）。

**【請求項 9】**

前記ツールコネクタ手段（21）が突起（23）を含んでなることを特徴とする、請求項7に記載の開創器拡張部材（20）。

**【請求項 10】**

歯（24）をさらに含んでなることを特徴とする、請求項1に記載の開創器拡張部材（20）。

**【請求項 11】**

湾曲リップ（26）をさらに含んでなることを特徴とする請求項1に記載の開創器拡張部材（20）。

**【請求項 12】**

前記主本体（28）から延在する横方向翼（27）をさらに含んでなることを特徴とする、請求項1に記載の開創器拡張部材（20）。

**【請求項 13】**

前記主本体（28）が、比較的剛性の中心部分（41）と、一对の比較的可撓性な横方向部分（42）とから構成されることを特徴とする、請求項1に記載の開創器拡張部材（20）。

**【請求項 14】**

開創器部材（10）と複数の拡張部材（20）との組み合わせであって、

前記開創器部材（10）は遠位端（13）を有し、

前記拡張部材（20）のそれぞれは主本体（28）と、前記開創器（10）が患者内に配置された後に前記開創器部材（10）上の固定された移動しない位置に前記拡張部材（20）を取り外し可能に取り付けるための取り付け手段（30）とを含んでなり、前記取り付け手段（30）は、前記拡張部材（20）上に配置されるクリップ部材（33）を含んでなり、

それにより、前記拡張部材（20）のそれぞれが、前記遠位端（13）が前記クリップ部材（33）によって受容され、かつ、前記主本体（28）の少なくとも一部が前記開創器の遠位端（13）を超えて延在するよう、前記拡張部材（20）が、前記開創器（10）の前記遠位端（13）における組織クリープを最小限にするかまたは防ぐよう、前記開創器部材（10）上に取り付け可能であることを特徴とする、組み合わせ。

**【請求項 15】**

前記取り付け手段（30）が、前記拡張部材（20）のそれぞれの前記主本体（28）上に配置されるU字型クリップ部材（33）を含んでなることを特徴とする、請求項14に記載の組み合わせ。

**【請求項 16】**

前記取り付け手段（30）が、前記拡張部材（20）のそれぞれの前記主本体（28）上に配置されるJ字型クリップ部材（33）を含んでなることを特徴とする、請求項14に記載の組み合わせ。

**【請求項 17】**

前記取り付け手段（30）が、前記拡張部材（20）の前記主本体（28）上に配置されるスロット（36）と、前記スロット（36）内に配置されるU字型クリップ部材（35）とを含んでなることを特徴とする、請求項14に記載の組み合わせ。

**【請求項 18】**

前記拡張部材（20）の前記主本体（28）が湾曲していることを特徴とする、請求項

１４に記載の組み合わせ。

【請求項１９】

前記拡張部材（２０）の前記主本体（２８）が概ね平坦であり、かつ、可撓性材料からなることを特徴とする、請求項１４に記載の組み合わせ。

【請求項２０】

前記拡張部材（２０）が、前記拡張部材（２０）をアプリケーションツール（９０）に一時的に接続するためのツールコネクタ手段（２１）をさらに含んでなることを特徴とする、請求項１４に記載の組み合わせ。

【請求項２１】

前記ツールコネクタ手段（２１）が、前記拡張部材（２０）内に設けられる少なくとも１つの開口（２２）を含んでなることを特徴とする、請求項２０に記載の組み合わせ。

【請求項２２】

前記ツールコネクタ手段（２１）が突起（２３）を含んでなることを特徴とする、請求項２０に記載の組み合わせ。

【請求項２３】

前記拡張部材（２０）が歯（２４）をさらに含んでなることを特徴とする、請求項１４に記載の組み合わせ。

【請求項２４】

前記拡張部材（２０）が湾曲リップ（２６）をさらに含んでなることを特徴とする、請求項１４に記載の組み合わせ。

【請求項２５】

前記拡張部材（２０）が、横方向翼（２７）をさらに含んでなることを特徴とする、請求項１４に記載の組み合わせ。

【請求項２６】

前記開創器部材（１０）が筒型であること特徴とする、請求項１４に記載の組み合わせ。

【請求項２７】

前記開創器部材（１０）が、拡張可能なブレードを含んでなることを特徴とする、請求項１４に記載の組み合わせ。

【請求項２８】

前記拡張部材（２０）のそれぞれもまた、前記主本体（２８）の少なくとも一部が前記ブレード間に延在するよう、前記開創器部材（１０）の前記ブレード上に横方向に取り付け可能であることを特徴とする、請求項２７に記載の組み合わせ。

【請求項２９】

前記拡張部材（２０）が横方向翼（２７）をさらに含んでなることを特徴とする、請求項２７に記載の組み合わせ。

【請求項３０】

前記拡張部材（２０）が多様な形態並びに寸法を有することを特徴とする、請求項１４に記載の組み合わせ。

【請求項３１】

前記開創器（１０）には複数の格子状開口（３４）を設けられ、前記格子状開口（３４）の少なくともいくつかは、全ての前記格子状開口（３４）が前記遠位端（１３）から等距離であるとは限らないよう、軸方向において離間していることを特徴とする、請求項１４に記載の組み合わせ。

【請求項３２】

前記主本体（２８）が、比較的剛性の中心部分（４１）と、一对の比較的可撓性の横方向部分（４２）とからなることを特徴とする、請求項１４に記載の組み合わせ。

【請求項３３】

アプリケーションツール（９０）をさらに含み、前記アプリケーションツール（９０）は、軸回転手段（９２）によって一对のＬ字型アーム（９３）に接続される一对のハンドル（９１

）と、前記拡張部材（２０）を前記開創器部材（１０）に取り付けるために前記拡張部材（２０）を一時的に保持する、前記Ｌ字型アーム（９３）上に配置される拡張部材保持手段（９４）とを含んでなることを特徴とする、請求項２０に記載の組み合わせ。

【請求項３４】

前記ツールコネクタ手段（２１）が、前記拡張部材（２０）中に設けられる少なくとも１つの開口（２２）を含んでなり、前記拡張部材保持手段（９４）は、前記少なくとも１つの開口（２２）によって受容される少なくとも１つのピン（９５）を含んでなることを特徴とする、請求項２０に記載の組み合わせ。